

敦賀高校

◆新◆聞◆

敦商タイムズ

＜発行所＞
敦賀高校商業科
＜編集責任者＞
3年課題研究
魅力発信チーム

敦賀高校商業科・情報経理科の生徒が制作する学校新聞です
商業科・情報経理科の取り組みや学校行事、地域の魅力を伝えていきます



イベントを終えて達成感に満ちたメンバー

一方、道順やミッションが分かりやすく工夫され、安全で親切な設計となっていた。入場料は500円で、縁日のお楽しみ券2回分がセットになった。



男子高校生が肝試しに行くが、その2人も行方不明になってしまう・・・参加者は入場前にこのストーリーを動画で観てから、呪いを封印するためのお札を探し出すというミッションに挑戦する。おぼけの配置や驚かし方など恐ろしい気な雰囲気づくりにこだわって、没入感を演出した。

今回のお化け屋敷を企画したのは、課題研究「地域活性化チーム」である。テーマは『禁じられた茶会―名門茶道部の怨念』。茶会に参加した女子高校生たちが行方不明になったという噂の学校跡地。そこへ、2人の

男子高校生が肝試しに行くが、その2人も行方不明になってしまう・・・参加者は入場前にこのストーリーを動画で観てから、呪いを封印するためのお札を探し出すというミッションに挑戦する。おぼけの配置や驚かし方など恐ろしい気な雰囲気づくりにこだわって、没入感を演出した。

10月25日に旧北小学校にて、敦賀高校生によるお化け屋敷が開催され、約100名が参加した。リアルなメイクをほどこしたお化けたちの演出に、参加者は悲鳴を上げて怖がっていた。準備から当日に至るまでの一幕を紹介する。

肝試しの秋！お化け屋敷で地域活性化

ていた。

9月から本格的に取り掛ったが、衣装や小物づくりなどの準備一つ一つに時間がかかり本番ギリギリまで苦労したという。当日も午前中はお互いにメイクをしたり、会場を飾り付けたりと、より良い仕上がりを目指した。参加者は「怖がらそうというお化けたちの意気込みすごかった」「工夫がたくさんあった」「メ

怨霊となった茶道部員に扮する

イクが本格的だった」「茶室での音が迫力があつた」と話していた。また、企画した生徒は「練習よりうまくできたし、トラブルもなくて良かった」と感想を述べた。担当の櫻井先生は「今後はビジネス的な観点を踏まえて多角的に考えられるといい」と振り返った。



リアルさを追及
血糊をつけるなど細部
までこだわった傷メイク



ボウリングをする子ども達

別の部屋では、縁日も開かれた。射的、スーパードールすくい、ボウリング、恋みくじの屋台は多くの人で賑わっていた。一番人気は、

「高校生が楽しかった」「高学年が楽しかった」と絶賛してくれた。笑顔が絶えない和やかな空間となっていた。

お菓子を的にした射的であつた。幼い子のためにミニサイズの遊び場も用意するなど、幅広い年齢層への配慮が感じられた。また、廊下の装飾や黒板アートも可愛い雰囲気仕上げてあり、工夫と努力の跡がうかがえた。

優しい高校生に笑顔満開！
地域とつながる手づくり縁日